

ダイバーシティ・キャリア支援委員会アンケート結果のご報告

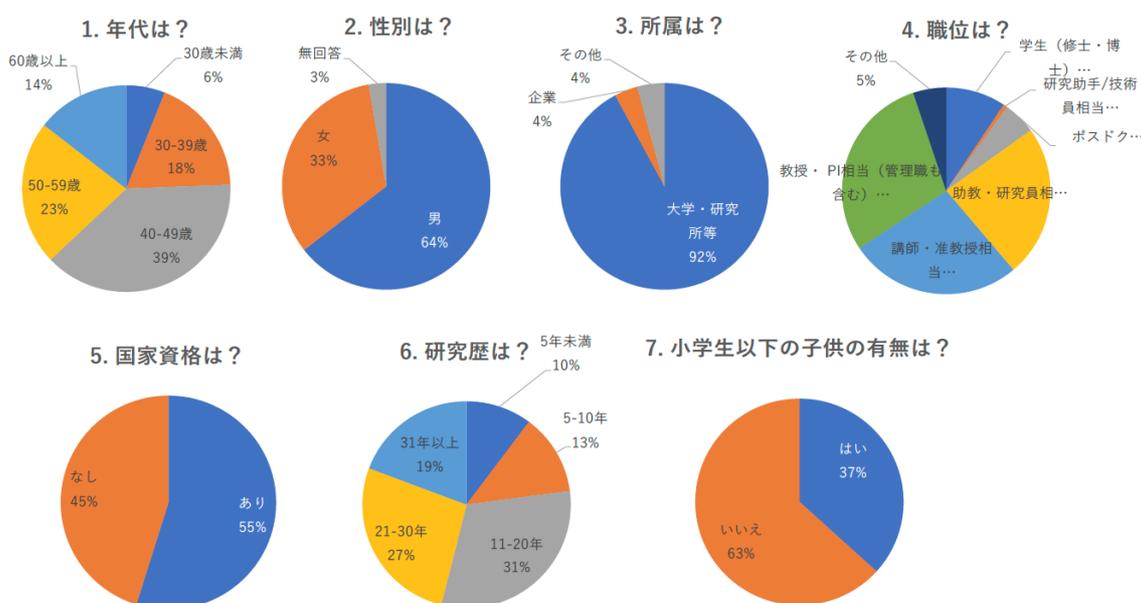
この度はアンケートにご協力いただきありがとうございました。

結果をご報告させていただきます。回答数は331件でした。年代や性別などの内訳は以下に示す通りですが、若手会員や女性会員など幅広い層の皆様からご回答いただくことができました。ご協力に感謝申し上げます。

日本免疫学会では、この度の結果をうけて、会員の皆様のご要望にこたえられるよう努力してまいります。

今後とも日本免疫学会へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1. アンケートに回答してくださった会員の内訳



2. 質問項目への回答

Q: キャリアパスで困っていること

A: ライフワークバランスについての意見が多く寄せられました。妊娠・出産・育児期間中に学術集会に参加することが難しいことを挙げられている方が多数おられました。対策としてコロナ期間だけではなく学術集会のオンライン参加やオンデマンド視聴を可能にすることなどの案を記載してくれた方もいました。そのほか、ポスト、研究費などについて困っているという意見も多数みられました。

Q: 若手研究者が研究活動を継続する上で、あれば良い学会からの支援

A: 若手研究者のメンタリング制度、若手研究者同士がコミュニケーションをとる場の提供、若手研究者と研究室とのマッチング制度を作るなどの意見が寄せられました。
また、若手研究者の発表枠を設けたり、分科会を企画するなど、若手研究者の発表の機会を増やし、「見える化」を図ることへの要望もありました。
さらに、若手研究者を対象としたとした研究助成の拡充などの要望もありました。

Q: 女性会員のキャリアパス上、あれば良い学会からの支援

A: 理事、評議員、プログラム委員、集會会長などの役職やニュースレター著者、座長、シンポジストなどに女性を増やすなどの意見が寄せられました。一方で、女性の積極的な登用や女性だけを対象とする賞について逆差別を指摘するご批判もありました。また、女性比率向上の目的のために女性研究者に種々の仕事が集中し、逆に女性が研究に専念する時間が減っている現状を危惧する声もありました。さらに、見た目だけ女性を増やすのではなく、学会がダイバーシティについての意識を高めるよびかけをすべきというご意見もありました。また、女性研究者の意見や悩みを聞く場など双方向の意見交換や発信の場を作ってもよいのではないかという意見もありました。出産、育児、介護に関わる研究者に対しては、男女を問わない支援が重要であるという意見も多く見られました。その一方で、学会はこの問題によく取り組んでいるので、これを継続し、これ以上は行わなくてもよいという意見もありました。

Q: 免疫学会会員あるいは免疫学研究を続けてきて良かったこと

A: 免疫学研究は自然科学として興味深い、研究成果の臨床への還元が期待できるなどの理由から免疫学研究にやりがいを感じているという意見が多数寄せられました。また、学会を通じて研究者のネットワークが広がったとの声も多く集まりました。さらに、きぼうプロジェクトや日独若手交流などの若手支援を評価する意見もありました。その一方で「特になし」「全くなし」という回答もありました。

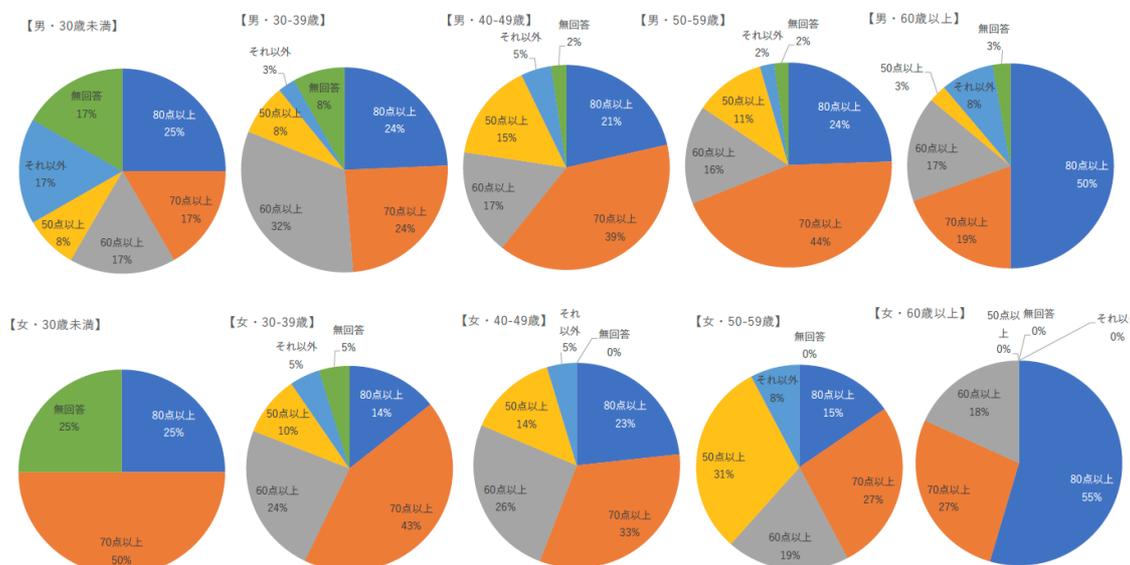
Q: 免疫学会会員あるいは免疫学研究を続けてきて困ったこと、つらかったこと

A: 研究費が十分でないという意見が最も多く、全体の4分の1を占めました。またポジションの確保が難しい、任期制の問題などキャリアパスへの不安の声が寄せられました。この

分野の競争の激しさを指摘する声もありました。また研究室の長時間労働に対する悩み、介護や育児、臨床活動との両立の悩みなどを抱えている会員も多いようでした。さらに、学会の閉鎖性を指摘する声もありました。また、学術集会については英語化の是非や開催地の問題点についてもご指摘がありました。その一方で、「特になし」という回答も約15%ありました。

Q: 今の生活の充実度・満足度は何点か

A: 男女別、年代別の回答を以下にお示します。



Q: 充実度・満足度をあげるために、あれば良い学会からの支援

A: 研究費の支援、交流の機会（イベント企画、ネットワークの構築）、キャリアパス支援や若手支援などの要望が多く、これらが半数以上を占めました。そのほか、子供がいても参加しやすい学会運営や、学術集会参加費・年会費の値下げなどの要望もありました。

おわりに

今後日本免疫学会では、会員の皆様にご指摘いただいた問題点についてダイバーシティ・キ

キャリア支援委員会を中心に検討し、改善していきたいと考えております。

なお、このたびのアンケートでは、学術集會に託児所を設置してほしいという要望もありました。実は、日本免疫学会学術集會における託児所に関しては、第35回より毎年設置しておりましたが、この情報が會員に皆様に十分に浸透していなかったこともわかりました。今後、情報の周知方法や運営に関しても改善していくよう、学術集會長、広報委員会、執行部とも協議していきます。

アンケート期間は終了しましたが、會員の皆様のご意見は随時受け付けておりますので、何かありましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

今後とも日本免疫学会の活動にご協力よろしくお願い申し上げます。